

若菜っ子

『わかるまでがんばる からだとこころを鍛える なかよく助け合う若菜っ子の育成』

令和5年6月7日
通信 第3号
校長 伊東 計太郎
(問い合わせ)
TEL: 22-0581

2年生「サツマイモの苗植え」

6月5日に2年生の子どもたちが「サツマイモの苗植え」をしました。

地域のまちづくり協議会や穂波交流センター、そして、若菜っこ応援隊の皆様からの全面的なご支援、ご協力を得て、子どもたちはあまり経験のない土に触れ、作物の収穫を願いながら、ていねいにひと苗ずつ畑に植えていきました。



これから、収穫までの間は、大きく育つように水をあげたり、草をとったりの活動をしていきたいと思います。この日のために、休みの時に草刈りをしていただいたり、畑を耕して畝(うね)を作っていただいたり、多くの作業を先に紹介した皆様にしていただきました。地域の子どものためにと活動していただいています。だからこそ、大きなお芋を収穫して、みんなで喜び合いたいと思います。



6月の行事

① プール学習(6月中旬～)

学校では、4年ぶりにプールを開いて学習を行います。プール掃除を行い、施設の老朽化も感じましたが、とにかく、子どもたちが安全に学習に臨めるように、準備、監視体制を整え、安全面を優先することを職員で確認しています。ご協力いただくこともいろいろありますが、安全を考えてのこととご理解いただければと思います。(ノ右上へ)

日(曜日)	行 事
8日(木)	職員プール水質管理研修
13日(火)	交通安全教室(全学年対象)
14日(水)	クラブ活動(4～6年生)
15日(木)	学力検証モデル事業(教育委員会視察)
16日(金)	4年生社会科見学旅行(福岡市)
20日(火)	福岡県学力実態調査(5年生)
22日(木)	「友だちアンケート」実施
23日(金)	5年自然体験活動(スキー教室)
28日(水)	委員会活動(5・6年)

② 校外学習 (↓左面「6月の行事」の続き)

学校外の教育活動の一環として、16日には4年生の社会科見学旅行を、23日には5年生の自然体験活動を行います。保護者の皆様には、実施にあたり、参加費を出していただくなど、ご迷惑をおかけしております。現地で直接見て学べる学習、自然の中に身を置いて行う集団体験活動を通して、これからの学校、家庭生活に活かすことができる1日となることを願うところです。

今後も、6年生の修学旅行、その他の学年の見学旅行や校外での学習を予定しています。何より、大事にしたいことは、何事もなくみんなが元気に学校・家庭に戻ることです。コロナ禍が終わり、今までしていたことをとしますが、子どもたちに何を学んでほしいか、無理な計画をしていないかと目的とブレーキのかけ方を意識しながら物事を進めていきたいと思ひます。

学力向上モデル校として

本校は、飯塚市教育委員会より、「学力向上モデル校」に指定され、年間を通じて、子どもたちの基礎基本の確実な定着と学力向上に向けた組織的な体制づくりを学校全体で取り組んでいっています。6月15日には、飯塚市教育委員会の方々が来校、視察される予定です。視察は、全学年学級が対象となり、本校の朝学習「若菜チャレンジ」の様子を視(み)ていただきます。

毎朝の「若菜チャレンジ」は、全学級が一斉に取り組みを始めます。担任教師の「かまえ!」の声を合図に音読が始まります。学級から聞こえる大きな声に元気をもらうことができます。朝眠くても、ピリッとピシッとさせてくれます。続いて取り組むのは、「百マス計算」です。3分間で、どのくらいできるか、そして、次の日は自分の記録を更新できるかなど、目標をもって取り組んでいる子どもたちです。鉛筆の音と、真剣な子どもたちの表情から一生懸命に取り組んでいる様子が伝わってきます。「真面目に取り組む・取り組んでいる姿」こそが素晴らしいことであり、カッコいいことだと、子どもたちの姿から教えられます。最後は、自分でなぞり書きをし、自分で漢字テストに取り組むという「全漢字」を行います。「若菜チャレンジ」全体は、約10～15分以内の時間ですが、教室の空気が大きく揺れたり、静かに止まったりと1時間目の学習へ集中力を高めるには、よき事前学習となっています。

学校の様子を教育委員会の方にご覧いただき、子どもたちにとって、また教員にとって、よりよくなるご指導、ご助言をたくさんいただきたいと思ひます。学校は、いつ、どなたが見学に来られても、気持ちの入った子どもたちと教員をご覧いただけます。元気で気合の入った声は、自慢です。

登下校について(ぜひ、ご家庭でお子さんとお話してください)

【あと5分の気持ちをもって】

毎日の朝の登校完了時間は、8時25分までに教室となっています。学校では、その10分後に、先で紹介しました「若菜チャレンジ」が始まります。私は、スタートの8時35分には学校内に入ろうと考えていますが、わずか5分ほどですが、遅れて校門に入ってくる子どもたちがいます。「おはよう」「今日も頑張ろう」といつもと同じように声を掛けますが、本当に言いたいのは、「あと5分早く頑張ろう」ということです。若菜小の子どもたちは、大きな声で、立ち止まってお辞儀もつけて丁寧にあいさつをしてくれる子どもたちがたくさんいます。学級のみんなが揃って、1日が始まることほど、うれしいことはありません。みんなで「あと5分の朝の早起き、早準備」をがんばりたいと思ひます。(そのためには、早寝も大切になります。)